

■ 産業デザイン学科 AEGG ポリシー

| | |
|---------------------------------------|---|
| POLICY G₁ | 【学位授与方針】 (Graduation Policy / Diploma Policy) ライフデザイン学部 産業デザイン学科は、全学の学位授与方針（G1 ポリシー）に基づき、所定の卒業要件単位を修得することを通して、本学の「共通学士力」並びに本学科の「専門学士力」を身に付けた学生に対し、卒業を認定し、「学士（デザイン）」の学位を授与する。 |
| POLICY G₂ | 【学生の指導方針】 (Guidance Policy) 正課外活動を通して社会の一員としての意識を醸成する。 また、キャリア教育を通して職業人としての意識を醸成する。 <1～2 年次> ・企業、組織活動の実態に触れ、職業としてのデザインに対する意識とコミュニケーション力を高める。 <3 年次> ・客観的な自己評価を行い、幅広いデザインの可能性の中で自分の具体的な進路を絞り込む。 <4 年次> ・経営の基本的な知識を学び、社会が求める製品やサービスを考える力を付ける。 |
| POLICY E | 【教育課程表の編成・実施の方針】 (Education Policy / Curriculum Policy) 学位授与の方針に対応した以下①～④で構成する。 <1 年次～2 年次前期> ①理論・思想を学ぶ。 ・現代社会におけるデザインの意義・役割・これからのデザインの課題を考える視点・デザインに関連する幅広い分野の知識 ②手法・技術を学ぶ。 ・アイデアを発想するシステムティックな手法・的確に他者へ伝えるアナログ・デジタル技術・より高度なデザイン技術 <2 年次後期～4 年次> ③応用・統合を学ぶ。 ・一連のデザインプロセス・論理的なプレゼンテーション・グループワーク ④社会・コミュニケーションを学ぶ。 ・実際の企業・組織活動とデザインの役割・組織活動で貢献できるコミュニケーション能力・自分の進路の検討、そこで必要な考え方、スキル |
| POLICY A | 【入学者受入の方針】 (Admission Policy) 将来、デザイナーや各種クリエイターとして活躍したい、あるいはデザインの学びを様々な仕事に活かしたいと考えている積極的な意欲のある学生を求める。 |

■ 産業デザイン学科の「専門学士力」および学修成果（到達目標）

| 【専門学士力】 | 【到達目標】 |
|-------------|---|
| ①デザイン知識・視点 | 解決しようとする課題に対する知識・視点を、その理解に基づき主体的に活用できる。 |
| ②アイデア発想力 | アイデア発想手法の理解のもと、それらを主体的に活用し、現実的な提案ができる。 |
| ③デザイン表現力 | デザイン表現技術を理解し、主体的にそれらを活用し、他者に伝えることができる。 |
| ④デザイン企画・計画力 | デザインプロセスの理解のもと、主体的に計画・企画し、プレゼンすることができる。 |
| ⑤デザイン共創力 | 自分の提案を評価し他者の考えを理解でき、主体的にグループワークに貢献できる。 |
| ⑥デザインの総合力 | 上記を主体的に活用し、独自かつ実用的な解決策を示すことができる。 |

■生活デザイン学科 AEGG ポリシー

| | |
|--------------------------------|---|
| POLICY G₁ | 【学位授与方針】 (Graduation Policy / Diploma Policy) |
| | <p>ライフデザイン学部 生活デザイン学科は、全学の学位授与方針（G1 ポリシー）に基づき、所定の卒業要件単位を修得することを通して、本学の「共通学士力」並びに本学科の「専門学士力」を身に付けた学生に対し、卒業を認定し、「学士（ライフデザイン）」の学位を授与する。</p> |
| POLICY G₂ | 【学生の指導方針】 (Guidance Policy) |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・変容する社会・環境のなかで自己確立や社会貢献の目標が描けるよう、学内外での人的交流や倫理教育の機会の提供、キャリア形成支援を行う。 ・研究や制作など、探究意欲を啓発するよう、大学院生をふくむ異学年がかかわる成果発表・講評の機会を設ける。 ・人々の多様性を尊重し、共創的な学びを通して互いの個性を評価できるよう、少人数共創型教育を重視する。 |
| POLICY E | 【教育課程表の編成・実施の方針】 (Education Policy / Curriculum Policy) |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・「ひとを結び、まちを創る」を共通テーマとし、工学・建築学や保健衛生学をもとに福祉学・文化芸術学・環境学などを含めた教育・研究を行う。 ・生活福祉／生活文化／生活環境の講義科目群を適切に配し、主要な探究領域の見定めと横断的な学びに資するようになる。 ・少人数共創型を重視するまちづくり系実習・研修科目を配し、段階的に探究・統合テーマに取り組みせるとともに、論文・制作などの多様な表現伝達方法を尊重した到達点を設ける。 |
| POLICY A | 【入学者受入の方針】 (Admission Policy) |
| | <p>本学科の教育理念を理解したうえで、以下の事柄の二つ以上に向学心や意欲を有する学生を受け入れる方針とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 福祉・文化・環境などの領域における持続可能なまちづくりにかかわる学びへの向学心があること。 2. 生活・地域にかかわる実務的な知識・技術・デザイン力を身につけたいという具体的目標を有していること。 3. 身の回りの住まいや暮らしに関心を持ち、公共の福祉に貢献できるよう自己研さんを重ねるつよい意志や継続力があること。 |

ライフデザイン学部 生活デザイン学科

■ 生活デザイン学科の「専門学士力」および学修成果（到達目標）

| 【専門学士力】 | 【到達目標】 |
|-------------|---|
| ①生活・地域の理解力 | 生活・地域にかんする基礎知識を正しく理解し、諸概念の連関性を説明できる。 |
| ②課題発見・分析力 | 福祉／文化／環境などの領域におけるまちづくりの問題や可能性を発見し、科学的に分析できる。 |
| ③企画・デザイン力 | 生活・地域にかんする問題解決や価値向上のための具体的方法を自ら企画・デザインすることができる。 |
| ④まちづくり連携力 | まちづくりの現場やコミュニティに立脚して状況をとらえ、知識を応用し資源活用・共創につなげることができる。 |
| ⑤表現伝達力 | 生活・地域にかんする探究の内容を多様な人々に伝わるよう、論理的・魅力的に表現・伝達することができる。 |
| ⑥探究・デザイン総合力 | ひとを結び、まちを創る—福祉／文化／環境などの領域的・横断的課題について、主体的・計画的・実践的に探究し、知識・技術を統合して、研究・制作にまとめあげることができる。 |

■ 経営デザイン学科 AEGG ポリシー

| | |
|--|---|
| <p>POLICY G₁</p> | <p>【学位授与方針】 (Graduation Policy / Diploma Policy)</p> <p>ライフデザイン学部 経営デザイン学科は、全学の学位授与方針（G1 ポリシー）に基づき、所定の卒業要件単位を修得することを通して、本学の「共通学士力」並びに本学科の「専門学士力」を身に付けた学生に対し、卒業を認定し、「学士（経営学）」の学位を授与する。</p> |
| <p>POLICY G₂</p> | <p>【学生の指導方針】 (Guidance Policy)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生自身が人間・組織・社会にいかに関わっていくべきかを考えることができるように、正課外活動などを通して社会との接点や経営実践の現場を知る機会が増える働きかけを行う。 ・学生が望む進路・キャリアを実現することができるように、インターンシップを奨励しキャリア教育を実践することで、職業人としての意識を醸成する。 ・自己の利益にとらわれず、地域社会の持続的な発展のために利他的に行動できる職業人を育成する。 |
| <p>POLICY E</p> | <p>【教育課程表の編成・実施の方針】 (Education Policy / Curriculum Policy)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営学、会計学、経済学を中心とした幅広い学問領域を学ぶことにより、地域の課題を解決する能力を身につけた職業人を育成する。 ・データ処理やデジタル技術を活用して経営組織体を体系的に改善する、DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進しAI(人工知能)を利活用する職業人を育成する。 ・学修成果の集大成として卒業研修を行う。 ・「副専攻制」を活用して、ライフデザイン学部 3 学科の横断的な教育機会を提供し、学生の複合的な学びを支援する。 |
| <p>POLICY A</p> | <p>【入学者受入の方針】 (Admission Policy)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営学、会計学、経済学およびそれらをつなぐ技術としての情報通信技術（ICT）を、横断的に学ぶ意欲を持っていること。 ・経営組織マネジメントの分野に関して、自ら学び、自ら考え、日常生活で生じる社会現象に興味・関心を持っていること。 ・地域社会の持続的な発展のために、コミュニケーション能力を発揮して、地域社会の課題解決に取り組めること。 |

■ 経営デザイン学科の「専門学士力」および学修成果（到達目標）

| 【専門学士力】 | 【到達目標】 |
|----------------|---|
| ①経済学的理解・分析力 | 理論・実証・歴史の側面から経済学を学び、社会現象を論理的に把握し、分析することができる。 |
| ②経営学的理解・分析力 | 経営・組織マネジメント・マーケティングなどの専門的な知識を身につけ、組織を構成しマネジメントすることができる。 |
| ③会計学的理解・分析力 | 会計学についての知識と技術を身につけ、会計情報の作成プロセスを理解して、適切な意思決定ができる。 |
| ④ICTを用いた調査分析能力 | 情報を収集し、処理する能力を身につけ、経営目標達成のための分析と判断ができる。 |
| ⑤経営デザイン・総合力 | 経営デザイン学科としての研究活動の成果物として卒業論文あるいは卒業作品を完成できる。 |